

『眠りに注意』 ～失うのは一瞬である～

Iテサ5：1～10

土石流、始めは小さなことが引き金です。ちょっとした崩れですが、一瞬にして色々なものを飲み込んでしまう大きな崩れになってしまいます。物事は目に見えない水面下で進んでいて小さなことが突破口となり、「収穫できるのか」という瞬間に一度に訪れたりします。だからいろいろあってもあきらめないことが大切です。「クリスチャンになると必ず成功する」という確信を多少なりもっているはず。これは素晴らしいものですが逆に怖いものでもあります。なぜなら信仰は保証してくれるものなので心が緩んでしまうのです。しかし現実には本当にクリスチャン？ということが起こります。物事は水面下で起こっていて気付いたときにはとめられないのです。大きな問題が起きる前には前兆があります。しかし私たちは「まっいいだろう」と見過ごし手を講じて直さないのです。大きなものを失う決断は一瞬です。あなたが今ある環境は失って得た環境ですか、得られて得た環境ですか。全てが無難にそこそこいい・・・これは神のあわれみです。今のあなたの環境が失って得たのなら失うことでしか発展がないし、得たのであればもっと得られるのです。（Iテサ5：1～10）魂が寝ている人は現実も寝ます。日々満足している人は夜寝ません。それは昼の生活に欲が満たされているからです。人間は喜びを得られることで疲労しないようになっているのです。だから日々の生活の中に喜びがない人はやる気が得られなくなるのです。クリスチャンはもうすでに死んだものではなく救われた人です。しかし世の中のクリスチャンが陥っている問題はこれです。みんな眠ってしまっているのです。自分の中に得なくてはならないものも失うものもないからです。生活の中で居眠りしているかしていないか考えてください。「平和だ」「安全だ」といっているうちに突如として滅びが襲い掛かる「戸口は非常に小さな出来事から」一瞬の出来事です。調子の良いときは小さな問題を大したことと思いませんが、問題は戸口で始まっています。だから小さな決断には十分気をつけてください。ちょっとあなたの環境に変化がでたり状況が悪くなったりしたときに取る行動が正しいかどうか判断してください。眠っているときに略奪されるのです。聖書が言う眠った人の特徴とは**①無感覚**。あなたの生活はと聞かれても「まあまあ」、となりで何が起きていても何も感じないのです。祈りもしません。ましてや自分の家族が滅びようがどうでもよい、そして自分の救いまで苛まれるのです。**②幻影に支配**。「何とかなる」「大丈夫」という人が増えていますが、こういう人は、自信はありますがその実は何もできません。成功も失敗も小さなことの積み重ねです。あなたはどちらを選びますか。神様が見せた将来の姿には必ず「こうするなら」があるはず。それもしないで成功するなんて思わないで下さい。**③無活動**。自分だけよければよいのです。気づいてもしません。やるべきことがあっても人に任せっきりです。自分に責任がないのです。自分ですべきでないことを見ていないし感じていないのです。隣の人が動いても動かない、目に入っているけれどしない、そんなことはありませんか。私たちは外見上の活動はやります。しかし今やっていることは本当に神様が好きでやっていることでしょうか。そうでなくなると無活動になります。無活動と幻影に苛まれています。こういう人は**④危険に脅かされている**。サムソンもデリラに抱かれ油断しているときに髪の毛を切られてしまいました。私たちは、環境のそこそこの満ち、そこそこの順調なときに眠りに陥ってしまいます。それ以上求めなくていいのです。これが日本全体でありあなたです。これは聖書でいう「もっているもので満足しなさい」というのとは違います。それは神様が与えてくれているものがあまりにも偉大で満足するのであって、得られてもいないのに「まっいいか」というのとは違うのです。日々カツカツで悩みがないわけでもないけど悩んでもしかたないという状況であるなら気をつけなくてははいけません。神様を知っていればそういう状況で満足してはいけないう、そうなるはずがありません。（ルカ12：15～）日本は継続的豊状態ですが「また来月もある」と安堵してはいけません。心を眠らせてはいけません。あなたはちゃんと起きていますか。（エペ5：14～17）寝ているとチャンスがいつ来ても分からないのです。捨っておけばよいものを平気で踏みつけてしまうのです。眠りに陥らないために**①家族の交わり**。家族の交わりとはキリストの教会です。ただ雑談するところではありません。あなたは家族を考える兄弟ですか、自分のことを考える兄弟ですか。あの人が今どういうことで苦労しているのか考えてください。あなたも困ったときに助けてもらうのです。だから道を譲ってもらうのに譲らないようなせこい生き方をしないでください。悪かったことを指摘しあって自分のことばかりではなく「あの元気がいい」と思ってください。**②見るものを見つける**。見るものを見つけていますか。神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、主イエス・キリストにあって救いを得るようにお定めになったからです。（Iテサ5：9）イエス様がしたことはこういうことです。見るものは現状や今の環境ではなくイエス様です。次の危機管理、後継者はできていますか。**③聖霊との交わり**。この人と一緒にいるかいないかがあなたの運命を左右します。**④目標の恵み**。私たちにはこの地において労苦がありますが最期に必ず天の御国の恵みが待っています。だからこの地の労苦は労苦ではありません。この地で楽しんだ人は永遠の滅びが待っています。あなたの家族がそうならないのですか、だから無感覚、幻影に支配、無活動にならずいつも危険に脅かされるような生活をやめ、与えられても取られる人生ではなく、得られたものからさらに得られるようになってください。教会の席に座るべき人はたくさんいる人です。真剣に祈っていれば忘れることはないはず。家族と交わり自分自身を戒め、見るものを見つめていけばあなたは月のように輝きます。あなたは言うだけ言って返って汚して帰る、ヨブの3人の友達のようになっていませんか。目を覚まして下さい。目を覚ませと自分にいい、そして気付いた事を実践すればよいのです。目に入ったことを今日からいいわけせずに実践してください。目に入ったことがやるべきことであり、その小さなことが積み重ねで大きな山になるのです。見た目だけ大きな山でも中が崩れているような山ではなく、小さな山でも積み重ね、作り続けるそんな人生にしていきましょう。（要約者：岩崎祥誉）